

デジタルビデオレコーダー

FDS-NHTシリーズ

取扱説明書

- ※ 本説明書内の画像、イメージは仕様およびモデルによって異なる場合があります。
- ※ 本説明書の内容はソフトウェア著作権とプログラムシステムによって保護されています。

機種別	ユーザー案内文
A級機器 (業務用放送通信機器)	この機器は業務用(A級)に電磁波適合登録をした機器になり、販売者及び使用者はこの点に注意してください。一般家庭以外の公共の環境で使用することを目的とします。

- ※ システムをご使用前に本取扱説明書を必ずお読みになり、正しくご使用ください。

警告

**火災や感電の危険性がありますので
湿気やほこりの多い場所に製品を置かないでください。**

**本製品を設置するには専門家が
行う必要があります、全ての規範を遵守する必要があります。**

重要

- 本製品は記録媒体としてハードディスクを使用しています。衝撃や振動を与えないでください。故障の原因となります。
- ハードディスクは消耗品です。お買い上げの販売店に相談し、定期的な交換をお願いします。また、定期点検の実施をお勧めします。
- 録画データ、バックアップデータについてはどのような場合でも保証いたしません。
- 本製品は横置き（ボタンの文字が読める方向）専用です。通風孔を塞がない設置条件であっても縦置きはできません。

注意

システムを動作する前に必ず読んでください。

物的損失や人命損害を防ぐため、下記の項目を必ず読んでください。

危険及び警告表示



警告: この表示は使用者が製品を正しく設置、使用しなかった場合、死亡や致命的な負傷する可能性があることを表しています。



注意: この表示は使用者が製品を正しく設置、使用しなかった場合、負傷したり製品に損害が発生する可能性があることを表しています。



警告: 感電や火災の危険性を減らすために、湿気やほこりの多い場所に製品を置かないでください。

一般警告



警告

1. メーカーが提供、推薦する電源コードを使用してください。火災の原因となります。
2. 製品を分解や修理、改造等をしないでください。製品の故障や火災の原因となります。
3. 修理については販売店にお問い合わせください。修理が適切に実行されない場合、感電の原因となります。
4. 手が濡れたまま製品に触れないでください。製品の故障や感電の原因となります。
5. 製品の設置は必ず専門家に依頼してください。製品の故障や感電、火災の原因となります。
6. アースは3Pアースプラグが装備されているビデオ製品に適用します。※モデルにより異なる
このプラグはアース型の電源コンセントにのみ有効です。アースが設定されていない場合、製品が故障する原因となります。
7. アース接続はガス管や水道管、または電話回線と合わせないでください。アースが正しく設置されなかった場合、製品の故障や感電の原因となります。
8. 製品内部に金属異物を混入させないでください。製品故障や感電の原因となります。

9. システム動作中に殺虫剤や可燃性のスプレーをかけないでください。火災の原因となります。
10. 通風孔をふさがないでください。また、空気循環が良い場所に置いてください。火災が発生する過熱また致命的なシステムの損傷の原因となります。
11. 機器内部に水が入り込まないように注意してください。清掃の際は、乾いたタオルで行ってください。製品故障や感電する可能性があります。

 **注意**

1. メーカーが提供、推薦する電源コードを使用してください。
メーカーが提供、推薦する製品外、規格外の製品を使用すると火災、製品の損傷の原因となります。
2. 落下や、強く振るパーティションの衝撃を製品に与えないでください。製品故障の原因となります。
3. 通風孔を塞がないでください。
製品の内部温度が許容温度に比べて高くなり、製品故障や火災の原因となります。
4. 落雷時に電源コードを触らないでください。感電の原因となります。
5. 機器の上や周辺に湿度の高い物を置かないでください。製品の内部温度が高くなり、製品故障や火災の原因となります。
6. 傾斜や不安定な場所に製品を設置しないでください。落下や転倒による事故の原因となります。
7. 内部ファンに指や物を入れないでください。事故の原因となります。

電源についての注意



警告

1. 必ずアース型のコンセントを使用して電源コードを接続してください。火災の原因となります。
※モデルにより異なる
2. 電源コードの中間部分に接続したり拡張コードを使用しないでください。熱を発生させ、火災の原因となります。
3. 濡れた手で電源コードを触れないでください。感電の原因となります。
4. 電源コードはほこりや湿気に注意して使用してください。
発熱による火災の原因となります。電源コードは防水処理が出来ません。結露による火災の原因となります。
5. 電源コードを取り外す時プラグを掴んでください。
電源コードを掴んで引っ張らないでください。電源コードが損傷している場合熱が発生して火災の原因となります。
6. 定期的に電源プラグを点検してください。湿度、ほこりなどによって火災が発生する可能性があります。
7. 製品を長時間使用しない場合は電源コードを外してください。ショートや感電の原因となります。



注意

1. システム動作中に電源のプラグを外して電源を切らないでください。データ、ハードディスクおよびシステムが損傷する可能性があります。
2. ハードディスクが動作中に強制的に電源を切らないでください。ハードディスクの障害やデータ損失の原因となります。



備考

- ※ 本説明書内の画像、イメージ、操作は製品のモデル、仕様によって異なる場合がございます。
- ※ 製品の機能や構成は製品の改良のため、予告なしに変更する場合がございます。

目次

1. 初めに.....	8
1.1 製品の構成	8
1.2 システム開始	9
1.3 名称.....	9
1.4 システム終了	11
2. 運用.....	12
2.1 ユーザーログイン	12
2.2 ライブ画面	12
2.3 PTZ操作	16
2.4 再生.....	17
2.5 再生中のバックアップ	18
2.6 検索.....	18
3. メニュー設定	23
3.1 ディスプレイ	24
3.2 録画.....	27
3.3 デバイス.....	30
3.4 ネットワーク	35
3.5 システム.....	41
4. ウェブモニタリング	46
4.1 接続方法.....	46
4.2 ウェブ再生	47
4.3 ウェブ設定	47

1.初めに

1.1 製品の構成

システムに同梱される付属品を確認してください。不足がある場合、販売店にお問い合わせください。

梱包箱は保守対応時に使用する場合があります。

品名	イメージ	数量
CD (取扱説明書 & 遠隔ソフト)		1セット
12V D/Cアダプター & 電源ケーブル		1セット
マウス		1個
ネジ		1セット

※ 上記の付属品は製品の改良のため、予告なしに変更する場合がございます。

※ 上記の付属品はモデルによって構成品が異なる場合がございます。

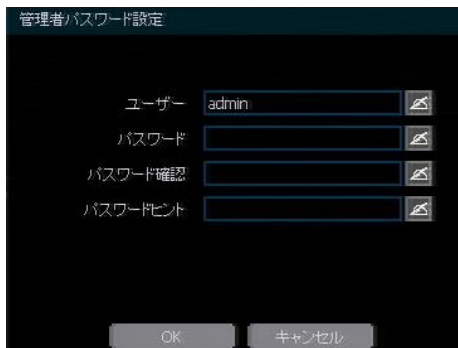
1.2 システム開始

システム動作前に、周辺装置を接続後、電源コードをデバイスに接続してください。

起動後、パスワードとパスワードヒントを作成します。

作成したパスワードを入れてログインします。

※パスワード右横にある"?"マークをクリックすると、作成したパスワードヒントを確認出来ます。



-
- メモ** 1) 管理者パスワードを設定した後、パスワードを忘れないように注意してください。
パスワードを忘れてしまった場合、販売店にお問い合わせください。
-

1.3 名称

1.3.1. フロント



※イメージはモデルによって異なります。

- ① USBポート：USB装置接続(バックアップ、アップグレード、インポート/エクスポート等)
- ② LED状態表示灯

PWR(電源)：緑色点灯が正常に電源が入っている事を意味します。

HDD(ハードディスク)：赤色点滅が正常にハードディスクが作動している事を意味します。

NET(ネットワーク)：黄色点灯が正常にネットワークが繋がっている事を意味します。

1.3.2. ライブ画面のメニューバー

ライブ画面上でマウスポイントを画面の下部に移動すると下図のようにメニューバーが表示されます。



メニュー設定

メニュー設定画面に入ることが出来ます。システムのすべての設定を行えます。

画面モード

分割画面を切り替えられます。(1, 4, 6, 8, 9, 10, 13, 16分割モード選択可能)

※チャンネル数によって分割画面は異なります。

シーケンス

画面を自動的に順次切り換えします。

チャンネル

当該のチャンネル番号をクリックすると、1画面に切り換わります。

緊急録画

緊急録画を開始します。緊急録画を中断したい時はもう一度アイコンをクリックしてください。

バックアップ

録画された映像をUSBメモリー等の外部デバイスにバックアップ出来ます。

再生

直近で録画されたデータ(10秒前)から再生されます。

検索

検索メニュー画面が表示されます。用途に合わせた検索モードを選択出来ます。

終了

ログアウト、再起動、シャットダウンが出来ます。

ドグル隠し

メニューバーを固定出来ます。

固定時、メニューバーが常に表示されます。

メニューバーを固定しない場合は、マウスポイントを画面下に持っていった時のみメニューバーが表示されます。

1.4 システム終了

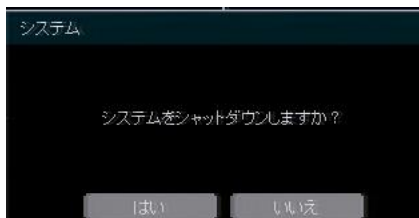
システムを終了出来ます。他にも再起動/ログアウトを選択出来ます。



"シャットダウン"をクリックした後、パスワードを入力し"OK"ボタンをクリックください。



下の表示画面で"はい"をクリックして、システムを終了します。



メモ パスワードは仮想キーボードを利用し入力出来ます。

2. 運用

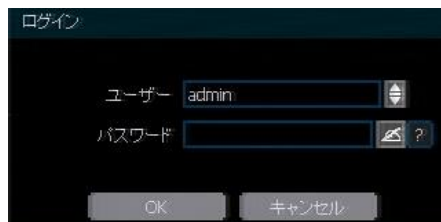
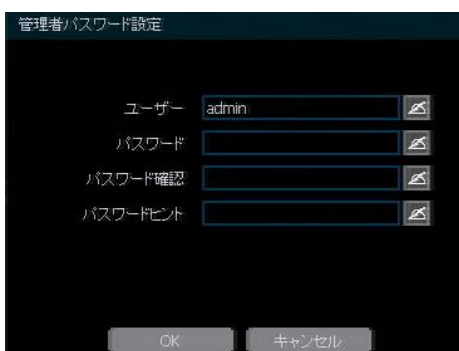
2.1 ユーザーログイン

システム動作前に、周辺装置を接続後、電源コードをデバイスに接続してください。

起動後、パスワードとパスワードヒントを作成します。

作成したパスワードを入れてログインします。

※パスワード右横にある"?"マークをクリックすると、作成したパスワードヒントを確認出来ます。



-
- メモ**
- 1) 正しいユーザーIDとパスワードが入力されるまでログイン画面が表示されます。
 - 2) 自動ログインにチェックした場合、ログイン画面は表示されません。
-

2.2 ライブ画面

2.2.1. チャンネル選択

システム起動後、簡単なボタン操作でライブ画面を監視出来ます。

ライブの分割画面で監視することが出来ます。(1, 4, 6, 8, 9, 10, 13, 16分割モード選択可能)

マウスで当該チャンネルのクリック、メニューバーのチャンネルボタンをクリックするたびに、画面は切り替わります。

マウスで特定のチャンネルを選択する場合、分割画面の特定チャンネル上でマウスを左クリックします。特定のチャンネルが1画面で表示され、再度左クリックすると分割画面に戻ります。

システム設定によって、カメラ接続が切れた場合、アラームおよび内部ブザーが鳴るように設定出来ます。

また、管理者(admin)はユーザー(user)とそれぞれ異なる権限を与えることが出来ます。

例えば、特定チャンネルのライブや再生画面の監視が出来ないように設定した場合、当該のチャンネルには画面が表示されません。

2.2.2. 状態表示アイコン

ライブ画面でシステムの状態をアイコンで確認出来ます。

各チャンネルの右上に表示されるアイコン		全体画面の右下に表示されるアイコン	
	連続録画		ハードディスクなし
	モーション録画		緊急録画中
	センサー録画		PTZ操作中
	連続 + モーション録画		HDD過熱警告
	連続 + センサー録画		シーケンス(順次切替)中
	モーション録画 + センサー録画		デジタルズームモード使用中
	緊急録画		
	センサー録画		
	モーション録画		
	オーディオ		
	PTZカメラ		
	POS		

メモ ライブ画面の右上に録画アイコンが表示されない場合、システムが録画をしていない状態です。録画設定メニューやカメラの接続等をご確認ください。

2.2.3. ポップアップメニュー

マウスで右クリックすると、下図のようにポップアップメニューが表示されます。

特定のチャンネルを設定したい場合、特定のチャンネル上で右クリックすると、当該のチャンネルのポップアップメニューが表示されます。



メニュー設定

メニュー設定に入る事が出来ます。システム全ての設定を行えます。

ディスプレイモード

分割画面を切り替えられます。(1, 4, 6, 8, 9, 10, 13, 16分割モード選択可能)

※チャンネル数によって分割画面は異なります。

次のチャンネルへ

表示されているチャンネル番号の次のチャンネル番号が表示されます。

※16分割時は使用出来ません。

シーケンス

シーケンスボタンをクリックすると、画面が順次切り換わります。

1, 4, 6, 8, 9, 10, 13画面モードでのみ順次切替が可能です。

※チャンネル数によって異なります。

デジタルズーム

- 画面の拡大/縮小が出来ます。※1画面時のみ使用出来ます。(PTZ機能のズームとは異なります。)
- マウスのドラッグ/ホイールを使用して、拡大/縮小出来ます。拡大された状態からマウスで位置を移動出来ます。
- 映像が拡大された状態から元の状態に戻す場合、右クリックをすると元の画面に戻ります。

PTZ

PTZ(パンチルトカメラ)モードに入ることが出来ます。

ライブ画面静止

画面を静止させます。時間表示は静止せずにライブ時間を表示します。
もう一度ライブ画面静止をクリックすると、動作が再開します。

ブックマーク追加

データを保存したい時間帯でブックマーク追加をクリックします。
上記の日時/時間が反映されて、説明を入れて保存するとレコーダーに保存されます。

再生

直近で録画された画面が自動で再生されます。(10秒前~5分前まで選択可能)

検索

録画データを様々な方法の検索が出来ます。
“カレンダー、日付/時間、最初から、最後から、システムログ、イベントログ、POS、HDD、ブックマーク”の中から検索方法を選択出来ます。

ターゲット検索

検索したいチャンネルと日付を選択して、検索ボタンをクリックすると、その日の24時間のデータが1時間間隔で24分割(静止画)で表示されます。

24時間のデータ中から静止画をクリックすることによって、1分単位の静止画(最大60分割)が表示され、さらに細かく確認することが出来ます。

分単位で表示された静止画をさらにクリックすると、その時間帯に録画されたデータが全て再生されます。

バックアップ

選択した時間帯のデータをバックアップ出来ます。

録画情報

システムの録画状態を確認出来ます。

内蔵しているハードディスクの録画期間、1日当たりのデータ量(平均)、現在の録画日数、残りの録画可能日数を確認出来ます。

システム状態

ネットワークの接続状態、接続されたクライアント数、カメラの接続状態を確認する事が出来ます。
緑色が正常状態を意味します。

分析

システム性能モニター：CPU/メモリー/録画(ビットレート)の使用容量を確認出来ます。

ネットワーク性能モニター：各カメラのネットワークデータ量をグラフで表示します。

自己診断

システム及びカメラの基本情報(システム、ネットワーク、保存装置、カメラ)を確認する事が出来ます。自己診断情報をメールで送信する事が出来ます。

※メール送信する場合、メニューの中にある通知設定を行ってください。

2.3 PTZ操作

PTZカメラが接続されているチャンネルが1画面で表示されている場合のみ使用出来ます。

ポップアップメニューから"PTZ"を選択するとPTZモードを呼び出すことが出来ます。

PTZモードに入ったらPTZのアイコンが画面の右下に表示されます。

PTZ操作

PTZ動作を制御出来ます。

左クリックをしたまま、マウスポイントを上下左右に移動して、カメラを移動出来ます。メイン画面の中心部(+表示)からマウスを遠くに動かすほど、カメラの移動速度が速くなります。



メモ PTZ機能はマウス、キーボードで操作可能です。

ズーム/フォーカス

マウスホイールを上下に動かしてズーム、フォーカスを操作出来ます。

右クリックでポップアップメニューを表示して、ズームかフォーカスにチェックを入れて操作します。

※ポップアップメニュー表示時は、ズームにチェックが入っています。

プリセット

カメラの画角/ズーム状態を記憶し、記憶した位置にカメラを移動させます。

右図のように数字入力キーボードに、希望のプリセット番号を入力後、"ENTER"ボタンを押して、当該のプリセット位置へ移動します。

プリセットは最大255個まで登録出来ます。(PTZモデルによって異なる場合があります。)

ガードツアー

プリセット位置を設定した順番と時間間隔で巡回します。

接続されたPTZカメラにツアーリング機能を設定していなくても使用出来ます。

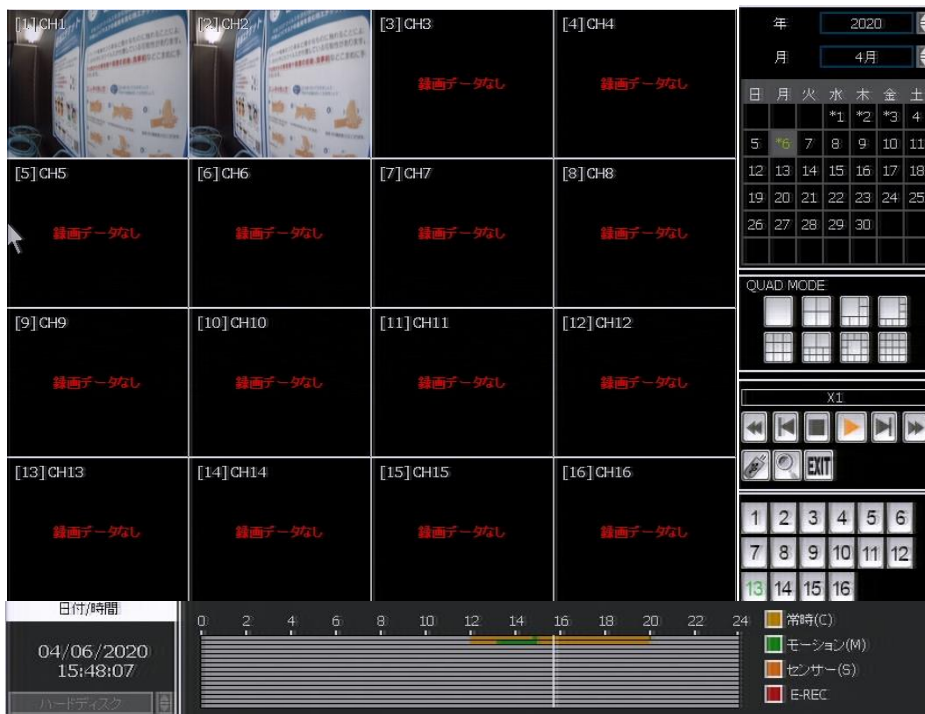
ポップアップメニューではツアーリング機能をオン/オフのみ出来ます。

注意 プリセット位置別に保持時間を設定出来ます。ただし、PTZの種類によって設定した時間内に当該の位置に移動しない場合があります。

2.4 再生

メニューバーの再生ボタンをクリックすると、10秒前のデータが再生されます。

ポップアップメニューの再生は10秒前、15秒前、30秒前、60秒前、2分前、3分前、5分前から選択して再生出来ます。



日付/時間

再生されている録画データの日付と時間を表示します。

操作メニュー

- ・分割画面(1,4,6,8,9,10,13,16)選択
- ・逆再生/コマ戻し/停止/再生/コマ送り/早送り、バックアップ、検索、EXIT
- ・チャンネル表示

ポップアップメニュー

- ◆ ディスプレイモード：分割画面を切り替えられます。(1, 4, 6, 9,10, 13, 16分割モード選択可能)
※チャンネル数によって異なります。
- ◆ デジタルズーム：デジタルズームが出来ます。
- ◆ 次のチャンネル：現在のチャンネル次のチャンネル、もしくは次のチャンネルからの分割画面を表示します。
- ◆ バックアップ：バックアップが出来ます。
- ◆ ブックマーク追加：監視している映像をブックマークに追加して、データを記録して、記録した時間から再生出来ます。
- ◆ 検索：検索メニュー画面が表示されます。用途に合わせた検索モードを選択出来ます。
- ◆ ターゲット検索：ターゲット検索画面に移動します。
- ◆ ライブモード：ライブ画面に戻ります。

再生モードの終了

EXIT、ライブモードをクリックする事によって、再生画面を終了しライブ画面に戻ります。

2.5 再生中のバックアップ

再生画面上でバックアップを行う事が出来ます。

- ① バックアップを開始したい時間で操作メニューのクイックバックアップスタートをクリックします。
- ② バックアップを終了したい時間で操作メニューのクイックバックアップ終了をクリックします。
- ③ バックアップ画面が表示されるのでバックアップしたいチャンネル数を選択してデバイスでスキャンをしてスタートをクリックします。

※時間は①②で行った時間帯が反映されます。

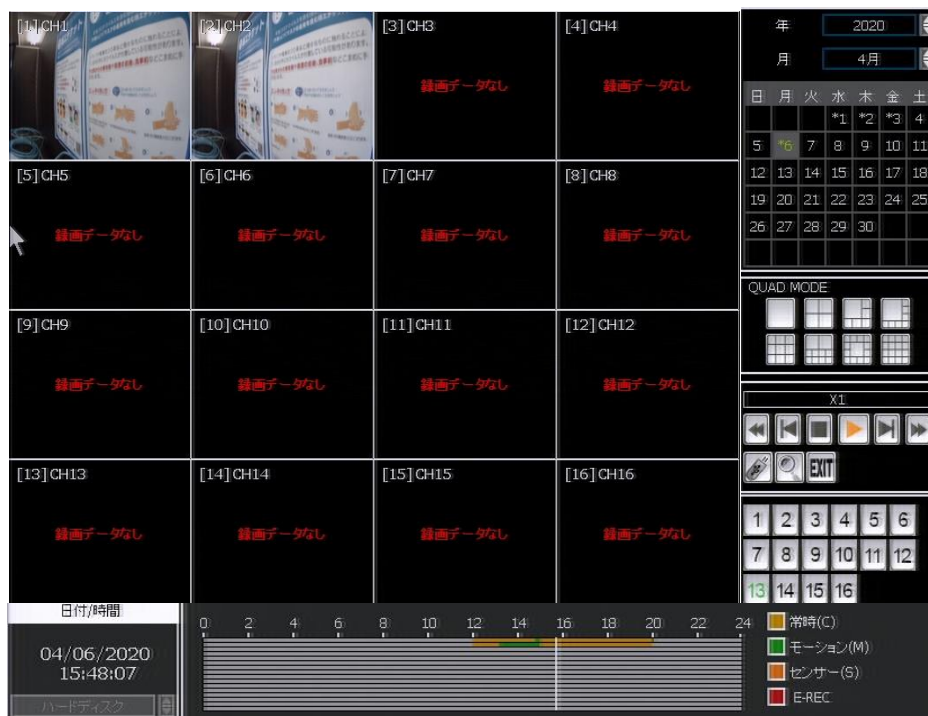
※パスワードを使用したい場合は使用可能にチェックを入れてください。

2.6 検索

メニューバーの"検索"ボタン、ポップアップメニューの"検索"ボタンから用途に合わせた検索(カレンダー、日付/時間、最初から、最後から、システムログ、イベントログ、POS、ブックマーク)を選択出来ます。

2.6.1. カレンダー検索

検索する日付と時間をカレンダーから選択して再生します。



検索する日付を選択後、タイムバー上で検索したい時間をクリックすると再生が開始します。

タイムバーの色は録画モードによって異なります。

※録画データがある場合はカレンダーの日付上に*マークが表示されます。

2.6.2. 日付/時間検索

検索する日付と時間を直接指定して再生します。

年/月/日と時間を選択して、再生ボタンをクリックします。



2.6.3. 最初から

録画データの最初へ移動し、そこから再生します。

2.6.4. 最後から

録画データの最後へ移動し、そこから再生します。

2.6.5. システムログ

特定のシステムログ(全て、システム、設定、ネットワーク)の記録を検索出来ます。



- ① 検索する日付を設定します。
- ② 検索するログの種類を選択します。(全て、システム、設定、ネットワーク)
- ③ “検索”ボタンをクリックすると、ログの内容及び発生時間等を確認出来ます。

- ④ USBメモリーをデバイスに接続して、スキャンをクリックした後、“エクスポート”ボタンをクリックすると、USBに保存出来ます。
- ⑤ 保存したログデータを見る方法
USBメモリーをPCに接続し、新しく作られたフォルダーの中に“system_[ログを検索した日付].log”ファイルをマウスでクリックします。
※フォルダー名の初期値はDVR1です。メニュー設定>システム>システム情報>サイト名で変更出来ます。

2.6.6. イベントログ

特定のイベントログ(全て、センサー、モーション、ビデオロス、HDDフル)の記録を検索出来ます。



- ① 検索する日付を設定します。
- ② 検索するログの種類を選択します。(全て、センサー、モーション、ビデオロス、HDDフル)
- ③ “検索”ボタンをクリックすると、ログの内容及び発生時間等を確認出来ます。
- ④ USBメモリーをシステムに接続し“スキャン”をクリックした後、“エクスポート”ボタンをクリックすると、USBに保存出来ます。
- ⑤ 保存したログデータを見る方法
USBメモリーをPCに接続し、新しく作られたフォルダーの中に“event_[ログを検索した日付].log”ファイルをマウスでクリックします。
※フォルダー名の初期値はDVR1です。メニュー設定>システム>システム情報>サイト名で変更出来ます。

メモ システムログ、イベントログは1ページごとに20個のログデータを表示されます。

2.6.7. ターゲット検索

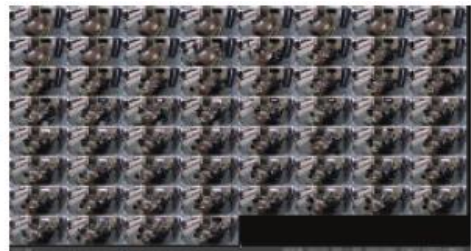
検索したいチャンネルと日付を選択して“検索”ボタンをクリックすると、その日の24時間のデータが1時間間隔で24分割(静止画)で表示されます。

24時間のデータ中から静止画をクリックすることによって、1分単位の静止画(最大60分割)が表示され、さらに細かく確認することが出来ます。

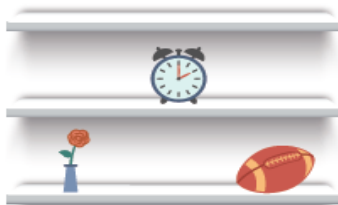
分単位で表示された静止画をさらにクリックすると、その時間帯に録画されたデータが全て再生されます。



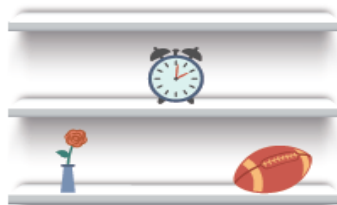
1日データ (24分割表示)



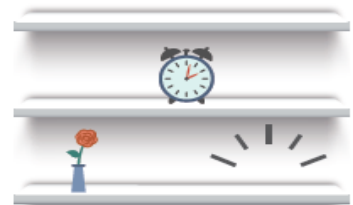
1時間データ (60分割表示)



2017/1/10 14:00



2017/1/10 14:01



2017/1/10 14:02

2.6.8. HDD

ハードディスクログの記録を検索出来ます。



2.6.9. ブックマーク

ポップアップメニューのブックマーク追加メニューで追加されたブックマークデータを編集、削除出来ます。また再生したいデータを選択後、再生ボタンをクリックして、当該のデータを監視出来ます。



3.メニュー設定

システムのすべての設定を行えます。

メニューは、ディスプレイ、録画、デバイス、ネットワーク、システムで構成されています。

主要区分	詳細区分
ディスプレイ	OSD
	ディスプレイ
	スポットアウト
	彩度
録画	録画
	録画スケジュール
	緊急録画
デバイス	カメラ
	音声
	モーション
	プライバシーマスク
	センサー
	イベント
	PTZ
	コントローラー
ネットワーク	ネットワーク
	DDNS
	通知
システム	日付/時間
	ユーザー
	ハードディスク
	ログ検索
	設定

3.1 ディスプレイ

3.1.1. OSD



OSD

画面上に表示させたいOSDメニューにチェックを入れます。

(全て、日付、時間、カメラタイトル、PTZ、録画、音声、POS、カメラ情報)

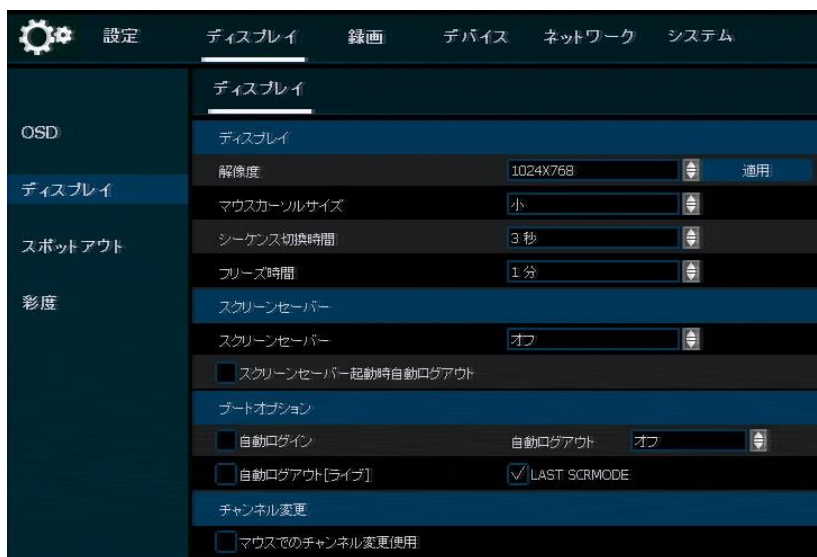
日付表示形式

日付表示形式を選択します。

言語

表示言語を選択します。(日本語、英語)

3.1.2. ディスプレイ



解像度

解像度を選択します。

(1024X768、1280X1024、1920X1080、2560X1440、3840X2160)

マウスカーソルサイズ

マウスカーソルのサイズを小、中、大の中から選択します。

シーケンス切換時間

1秒から60秒の中から選択します。

フリーズ時間

画面をフリーズさせます。

オフ、1分、5分、10分、30分、60分の中から選択します。

スクリーンセーバー

選択した時間でデバイスの操作を行わなかった場合、画面がブラックアウトし画面を隠す事が出来ます。

※スクリーンセーバー起動時自動ログアウトにチェックを入れると、ログアウト出来ます。

ブートオプション

自動ログイン：パスワードを入れずにログイン出来ます。

自動ログアウト：選択した時間でデバイスの操作を行わなかった場合、自動でログアウトされます。

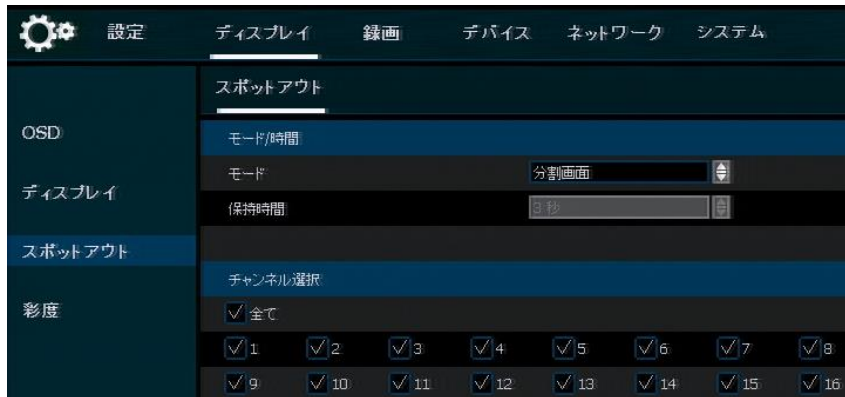
自動ログアウト[ライブ]：ログアウトする際に、パスワードを入力せずにログアウト出来ます。

LAST SCRMODE：再起動した際に、前回ログアウトした際の分割画面の状態を維持します。

チャンネル変更

マウスドラッグ&ドロップする事によってチャンネルを移動出来ます。

3.1.3. スポットアウト



モード/時間

モード：スポット出力する際の分割モードを選択します。

保持時間：画面切替えする時間を選択します。(1～12秒)

チャンネル選択

シーケンスするチャンネルを選択します。

3.1.4. 彩度

カメラの明るさ、コントラスト、彩度、色合い、シャープネスを調整出来ます。



3.2 録画

3.2.1. 録画

メインストリーム、サブストリームを設定します。

メインストリーム		サブストリーム					
カメラ	オン/オフ	解像度	FPS	画質	音声		
1	オン	960X480	10	4 M	オフ		
2	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
3	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
4	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
5	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
6	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
7	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
8	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
9	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
10	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
11	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
12	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
13	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
14	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
15	オン	信号なし	10	4 M	オフ		
16	オン	信号なし	10	4 M	オフ		

残りフレーム数(FPS) 470 FPS

メインストリーム		サブストリーム					
カメラ	解像度	FPS	画質	音声			
1	720X480	10	512k	オフ			
2	信号なし	10	512k	オフ			
3	信号なし	10	512k	オフ			
4	信号なし	10	512k	オフ			
5	信号なし	10	512k	オフ			
6	信号なし	10	512k	オフ			
7	信号なし	10	512k	オフ			
8	信号なし	10	512k	オフ			
9	信号なし	10	512k	オフ			
10	信号なし	10	512k	オフ			
11	信号なし	10	512k	オフ			
12	信号なし	10	512k	オフ			
13	信号なし	10	512k	オフ			
14	信号なし	10	512k	オフ			
15	信号なし	10	512k	オフ			
16	信号なし	10	512k	オフ			

残りフレーム数(FPS) 128

オン/オフ：録画をするかしないかを選択します。

解像度：カメラの解像度を表示します。

FPS：カメラのコマ数(1~30コマ)を選択します。

画質：ビットレート(512Kbps~4Mbps)を選択します。

※サブストリームは128Kbps~512Kbpsの中から選択します。

音声：音声入力設定を行います。

※音声入力は4つまでとなります。

3.2.2. 録画スケジュール



チャンネル

録画スケジュールを設定するチャンネルを選択します。

録画モード

録画モード(常時、モーション、センサー、常時+モーション、常時+センサー、センサー+モーション)を選択します。

オフ

録画しません。

黄色(常時(C))

常時録画します。

緑色(モーション(M))

画面上にモーション(動き)が発生すると録画します。

※システム>イベント>モーションメニューでモーション録画設定になっていないと録画しません。

オレンジ色(センサー(S))

システムにセンサー入力が発生すると録画します。

※システム>イベント>センサーメニューでセンサー録画設定になっていないと録画しません。

青色 ((C)+(M))

検索時、タイムバーに常時録画の際は黄色で表示され、モーションが発生すると緑色で表示します。

常時とモーションの区分が出来ます。

茶色((C)+(S))

検索時、タイムバーに常時録画の際は黄色で表示され、センサー入力がある際はオレンジ色で表示します。

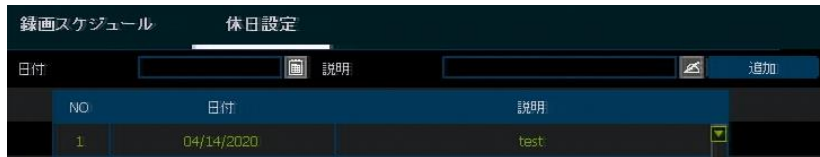
常時とセンサーの区分が出来ます。

ピンク色((M)+(S))

検索時、タイムバーにモーション録画の際は緑色で表示され、センサー入力がある際はオレンジ色で表示します。

モーションとセンサーの区分が出来ます。

休日設定



休日の録画スケジュールを設定出来ます。

最大32個まで休日設定が出来ます。

日付、説明を設定後、“追加”ボタンをクリックして、休日の項目に追加されます。

3.2.3. 緊急録画

緊急録画は録画設定に関わらず常に録画している状態です。

ライブ画面でメニューバーの“緊急録画”ボタンをクリックすると、緊急録画モードになり、もう一度クリックすると通常の録画モードになります。

緊急録画実行時間(30秒~10分)を選択すると、選択した時間が経過すると、自動で緊急録画モードが解除されます。

3.3 デバイス

カメラ

解像度：カメラの解像度を表示します。

カメラタイトル：カメラの名称を変更出来ます。

※デバイス側では英数字のみ反映出来ます。

マスク：遠隔ソフト上で映像をマスキングする事が出来ます。

カメラ	解像度	カメラタイトル	マスク
1	960H30	CH1	オフ
2	1080P30 [A]	CH2	オフ
3	番号なし	CH3	オフ
4	番号なし	CH4	オフ
5	番号なし	CH5	オフ
6	番号なし	CH6	オフ
7	番号なし	CH7	オフ
8	番号なし	CH8	オフ
9	番号なし	CH9	オフ
10	番号なし	CH10	オフ
11	番号なし	CH11	オフ

音声

音声出力のオン/オフを選択出来ます。

※音声出力は4つとなります。

カメラ	音声
音声1	オフ
音声2	オフ
音声3	オフ
音声4	オフ

モーション

モーションがあった際の、検知する範囲と感度を設定する事が出来ます。



メモ モーション領域と感度はシステム設置現場の環境を考慮し設定してください。

プライバシーマスク



映像を隠したい箇所をライブ及び再生画面で表示しないように設定します。

- ① 映像を隠したいチャンネル数を選択します。
- ② 上図の赤枠にあるようにドラッグ&ドロップして映像隠しする箇所を選択します。
 - ・レイヤー：映像隠し箇所を4か所まで選択出来ます。
 - ・彩度：映像隠しする色(黒色、灰色、白色、黄色、青色、緑色、赤色)を選択します。
- ③ 保存をクリック後、終了をクリックして完了します。

センサー

センサー				
センサー	オン/オフ		カメラ	タイプ
1	オフ	↑ ↓	1	N/O
2	オフ	↑ ↓	2	N/O
3	オフ	↑ ↓	3	N/O
4	オフ	↑ ↓	4	N/O

デバイスにセンサーを接続し録画するチャンネル番号、入力タイプを選択します。

オン/オフ：センサーの使用可否を設定出来ます。

カメラ：センサー入力と連動し録画するカメラを選択出来ます。

タイプ：入力するセンサーのタイプを設定出来ます。(N/O(ノーマルオープン)、N/C(ノーマルクローズ))

イベント

モーション(M)

モーション(M)		センサー		ビデオロス		ハードディスク	
カメラ	リレー	保持時間	ブリアラーム	ブザー	カメラポップアップ		
全て	オフ	10 秒	オフ	オフ	オフ		
1	オフ	10 秒	オフ	オフ	オフ		
2	オフ	10 秒	オフ	オフ	オフ		
3	オフ	10 秒	オフ	オフ	オフ		
4	オフ	10 秒	オフ	オフ	オフ		

リレー：1に設定するとモーション発生時にアラームを出力させます。

保持時間：モーション終了後の録画及びアラーム出力する時間を選択出来ます。(オフ、1秒～5分)

ブリアラーム：モーション発生する前の録画する時間を選択出来ます。(オフ、1秒～5秒)

ブザー：モーション発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

カメラポップアップ：モーション発生時、ポップアップのオン/オフを選択します。

センサー

モーション(M)		センサー		ビデオロス		ハードディスク	
カメラ	リレー	プリセット	保持時間	ブリアラーム	ブザー	カメラポップアップ	
全て	オフ	0	5 秒	オフ	オフ	オフ	
1	オフ	0	5 秒	オフ	オフ	オフ	
2	オフ	0	5 秒	オフ	オフ	オフ	
3	オフ	0	5 秒	オフ	オフ	オフ	
4	オフ	0	5 秒	オフ	オフ	オフ	

リレー：1に設定するとセンサー発生時にアラームを出力させます。

プリセット：センサーが発生時、設定したプリセット番号に向きを移動します。

※カメラはPTZカメラのみ可能となります。

保持時間：センサー終了後の録画及びアラーム出力する時間を選択出来ます。(オフ、1秒～5分)

ブリアラーム：センサー発生する前の録画する時間を選択出来ます。(オフ、1秒～5秒)

ブザー：センサー発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

カメラポップアップ：センサー発生時、ポップアップのオン/オフを選択します。

ビデオロス

モーション(M)		センサー		ビデオロス		ハードディスク	
カメラ	オン/オフ	リレー	保持時間	ブザー			
全て	オン	オフ	5 秒	オフ			
1	オン	オフ	5 秒	オフ			
2	オン	オフ	5 秒	オフ			
3	オン	オフ	5 秒	オフ			
4	オン	オフ	5 秒	オフ			

オン/オフ：ビデオロス表記のオン/オフを選択します。

リレー：1に設定するとビデオロス発生時にアラームを出力させます。

保持時間：ビデオロス発生後のアラーム出力する時間を選択出来ます。(オフ、1秒～5分)

ブザー：ビデオロス発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

ハードディスク

モーション(M)		センサー		ビデオロス		ハードディスク	
ディスクフル							
	オン/オフ	リレー	保持時間	ブザー			
S.M.A.R.T	オン	オフ	5 秒	オン			
ディスク エラー	オン	オフ	5 秒	オン			
ディスクフル							
	オン/オフ	使用量	リレー	保持時間	ブザー		
ディスクフル	オン	100%	オフ	5 秒	オフ		

S.M.A.R.T：ハードディスクのエラー情報を意味します。

オン/オフ：S.M.A.R.Tエラーが発生した場合にレコーダー側での通知オン/オフを選択します。

リレー：1に設定するとS.M.A.R.Tエラー発生時にアラームを出力させます。

保持時間：S.M.A.R.Tエラー発生後のアラーム出力する時間を選択出来ます。(1秒～5分)

ブザー：S.M.A.R.Tエラー発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

ディスクエラー：レコーダーのエラー情報を意味します。

オン/オフ：ディスクエラーが発生した場合にレコーダー側での通知オン/オフを選択します。

リレー：1に設定するとディスクエラー発生時にアラームを出力させます。

保持時間：ディスクエラー発生後のアラーム出力する時間を選択出来ます。(1秒～5分)

ブザー：ディスクエラー発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

ディスクフル：ハードディスクの空き容量がいっぱいになった事を意味します。

オン/オフ：ディスクフルになった場合にレコーダー側での通知オン/オフを選択します。

使用量：設定した使用量になると、レコーダーにディスクフルの通知がされます。

リレー：1に設定するとディスクフルになった時にアラームを出力させます。

保持時間：ディスクフルになった際のアラーム出力時間を選択出来ます。(1秒～5分)

ブザー：ディスクフルになった際、ブザーのオン/オフを選択します。

PTZ

PTZカメラのプロトコル、ボーレート、アドレス設定を行います。

プロトコル：システムに接続されているPTZカメラのプロトコルを選択します。

ボーレート(変調速度)：システムに接続されているPTZカメラのボーレートを選択します。

2400bps～57600bpsまで選択出来ます。

アドレス：システムに接続されているPTZカメラのアドレス(ID)を選択します。

制御：PROGRAMボタンをクリックすると、PTZカメラのOSDメニューが画面に表示されます。

コントローラー

リモコンID：複数のシステムを一つのキーボードコントローラーで制御出来ます。

接続されているキーボードの情報を設定します。

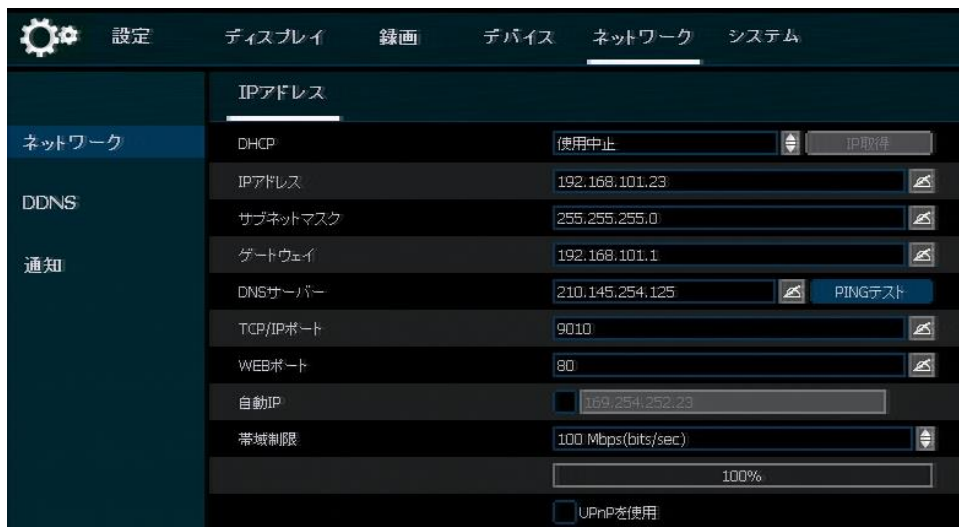
キーボード：使用するキーボードのモデルとボーレートを選択します。

POS：RS-232やLANを通してPOS装備をデバイスに接続出来ます。

POS装備との連動が必要なため、販売店にお問い合わせください。

3.4 ネットワーク

3.4.1. IPアドレス



DHCP

DHCPクライアント機能を利用するかどうかを設定します。

システムをネットワークに接続し、DHCPにします。“IP取得”ボタンをクリックして、表示されるIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー、ポート、WEBポートの情報を入力後、DHCPを“使用中止”に変更します。

※固定IP(STATIC IP)をご利用の場合はDHCPを“使用中止”にします。

※DHCPを“使用可能”のままにすると、ルーターの情報更新等によってネットワーク接続が切れますのでご注意ください。

IPアドレス

システムに割り当てられたIPアドレスを設定します。

サブネットマスク

デバイスが参加するネットワークのサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ

デバイスが参加するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。

DNSサーバー

デバイスが参加するネットワークのDNSサーバーアドレスを設定します。ドメイン名サーバーのIPアドレスを入力します。DDNS、Eメール通知AILアラーム機能やNTPサーバーを利用するためにはDNSサーバーアドレスが必要です。

※情報が分からなかった場合、“8.8.8.8”を入力するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

TCP/IPポート

遠隔モニタリングで使用するポート番号を設定します。

WEBポート

ウェブブラウザで遠隔モニタリングするポート番号を設定します。

帯域制限

データの転送量を25kbps～1Gbpsまで制御出来ます。

※あくまで平均値であり、設定値を超える場合があります。

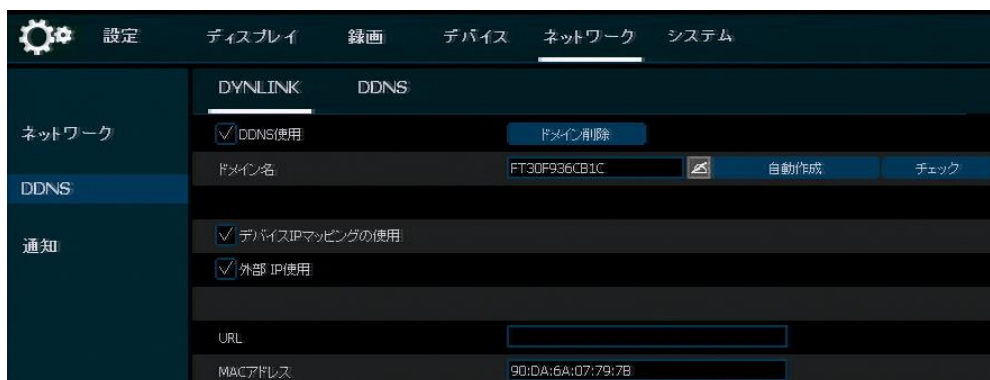
UPnPを使用

チェックを入れるとUPnP機能を対応するルーターの場合、ポートを自動的に開放出来ます。

※必ずネットワーク管理者にお問い合わせの後、ご使用ください。

3.4.2. DDNS

システムがダイナミックIPに接続されている場合、公開DDNSサーバーまたはメーカーで運営するDDNSサーバー(dynlink.net)を使用するとIPアドレスが分からなくてもシステムに接続出来ます。



DDNS使用

DDNSサーバーを使用するためにはチェックを入れてください。

DDNSサーバー

- DDNS サーバー : DYNLINK.NET自動設定
- TCP/IP ポート : 80自動設定
- ドメイン名 : 遠隔モニタリングに使用するドメイン名を作成します。
“チェック”ボタンをクリックするとドメイン名の有効可否が確認出来ます。

デバイスIPマッピングの使用と外部IP使用

ルーターを利用してネットワークに接続する場合、2つ全部選択します。

※システムをネットワーク上に接続するためにはいくつかのポートが必要です。

下の表を参考にして、ファイアウォールやその他のネットワーク設定によって遮断されないようにしてください。

プロトコル	ポート	使用	備考	変更	メニュー
TCP	9010	遠隔モニタリング	遠隔ソフト、モバイルアプリ	0	ネットワーク> ネットワーク
TCP	8002	NTPサーバー(時間同期化)	遠隔地のPCネットワークで ポート開放必要	0	システム>システム情報> 日付/時間
TCP	8003	遠隔通知、Eメール通知	遠隔地のPCネットワークで ポート開放必要	0	ネットワーク>通知
TCP	80	ウェブモニタリング	ウェブブラウザ	0	ネットワーク> ネットワーク
TCP	80	DDNSサーバー		選択	ネットワーク>DDNS
TCP	123	NTPサーバー(時間同期化)		固定	ネットワーク> ネットワーク

3.4.3. 通知

Eメール通知

Eメール設定をすると、各イベント情報がメールで通知されます。

The screenshot shows the 'Eメール' (E-mail) configuration screen. At the top, there are tabs for 'Eメール', 'リモート', 'モバイル', and 'P2P'. The 'Eメール' tab is selected. Below the tabs, there is a section for 'メインサーバー情報' (Main server information). The 'Eメール通知' (E-mail notification) checkbox is checked. The 'SMTPサーバー' (SMTP server) is set to 'smtp.mailserver.com'. The 'ユーザー' (User) field is empty. The 'パスワード' (Password) field is empty. The 'ポート' (Port) is set to '25'. There is an 'Eメールテスト' (E-mail test) button. Below the settings, there is a section for 'ユーザー' (User) with a table for selecting events to be notified. The table has two columns: 'NO' and 'Eメール'. At the bottom, there are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), and '削除' (Delete).

- ① Eメール通知にチェックを入れます。
- ② SMTPサーバー、ユーザー、パスワード、送信者、ポートを入力して“Eメールテスト”をクリックします。
- ③ ユーザーの追加でEメール、通知したいイベント情報を選択して“OK”ボタンをクリックします。
- ④ “保存”ボタンをクリックして設定を完了します。

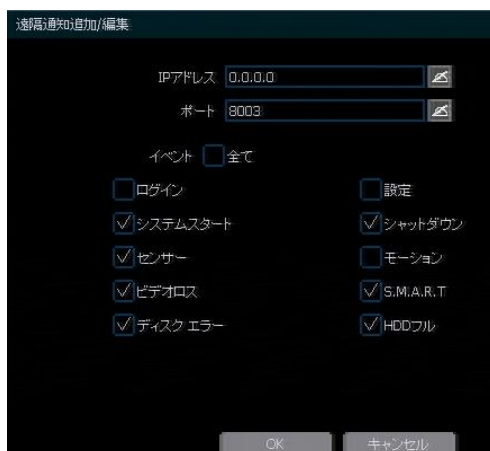
通知を受けるメールのSMTPサーバー設定

- SMTPサーバー：送信メールサーバーを設定します。
- ポート：送信メールサーバーが使用するポートを設定します。
- ユーザー：送信メールサーバーのユーザーIDを設定します。
- パスワード：送信メールサーバーのユーザーIDを設定します。
- 送信者：送信元メールアドレスを設定します。
- SSL認証使用：送信メールサーバーがSSL認証を必要とする場合(例、Gmail, Yahooメール等)、SSL認証でログインした後、選択してください。
- Eメールテスト：Eメールの送信テストを行います。

メモ センサーとモーションの通知の場合、録画設定および録画スケジュールでイベント設定をしないと通知しません。

リモート

イベント発生時の通知に関する各種設定を行います。



- ① 遠隔通知にチェックを入れます。
- ② 追加ボタンをクリックして、遠隔通知追加/編集画面に移動します。
- ③ 遠隔ソフト設置しているPCのIPアドレスとポートを入力して、通知したいイベント情報を選択して“OK”ボタンをクリックします。
- ④ “保存”ボタンをクリックして設定を完了します。

IPアドレス

通知を受ける遠隔ソフトのPCのIPアドレスを設定します。

ポート

通知を受ける遠隔ソフトのPCのポートを設定します。

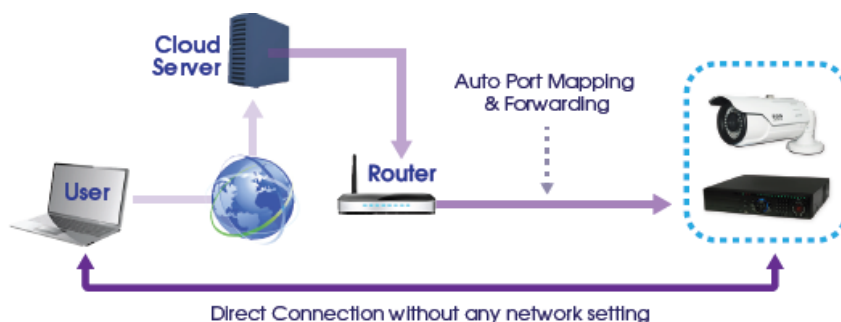
イベント

通知したいイベントを選択します。

メモ 遠隔通知はモデルと遠隔ソフトの種類によってサポートしない場合があります。

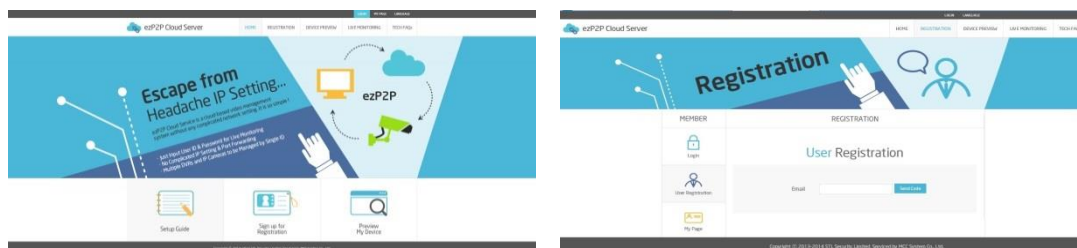
P2Pクラウド

メモ ezP2P™クラウドサーバーは複雑なネットワーク設定なしに、クラウドサーバーを利用し簡単にシステムに接続出来るシステムです。
ユーザーのEメールアドレスを利用しezP2P™クラウドサーバー(www.ezp2p.com)にログインして、システムを遠隔モニタリング出来ます。



登録(ezP2P™クラウドサーバー)

ezP2P™クラウドサーバーサイト(www.ezp2p.com)にEメールとパスワードを登録してください。



接続(ezP2P™クラウドサーバー)

ezP2P™クラウドサーバーサイト(www.ezp2p.com)にログインします。

“Preview My Device”を選択したら、同一のメールアドレスで登録したすべてのシステムリストがイメージと一緒に表示されます。

警告

P2Pクラウド機能の使用が制限される場合があります。

- 1) ルーターがUPnP機能をサポートしない場合、またはUPnP機能がオフになっている場合
- 2) ファイアウォールの設定がされている場合(ポート番号50,000~が解放されていなければなりません。)

※正しく動作しない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3.5 システム

3.5.1. 日時/時間

日時/時間	
日時/時間	04/06/2020 20:26:33
タイムゾーン	(GMT+9) Osaka, Sapporo, Tokyo
サマータイム	<input type="checkbox"/> サマータイム使用
時刻同期モード/周期	オフ
時刻同期サーバー	0.0.0.0
時刻同期ポート	8002
NTPサーバー	pool.ntp.org

時刻同期

日時/時間

日時、時間を手動で入力します。

タイムゾーン

タイムゾーンの設定を行う事が出来ます。

日本の標準は、(GMT+9) Osaka, Sapporo, Tokyoを選択してください。

時刻同期モード/周期

NTPを選択するとNTPサーバー(初期値：pool.ntp.org)を利用して時間同期を行います。

同期化する周期を選択します。

ローカルネットワークの場合、クライアントPCまたはサーバーを選択してください。

3.5.2. ユーザー

システムの管理者(admin/administrator)はすべての機能を使用出来る権限を持ちます。

管理者はユーザーを追加/修正/削除出来て、各ユーザーの権限を与えることが出来ます。

NO	ユーザー	説明
1	admin	administrator

追加 編集 削除

ハードディスク状態チェック

チェックをクリックすると、ハードディスクのモデル名、ポート、シリアル番号、容量、S.M.A.R.T、不良ブロック、通電時間、温度の情報が確認出来ます。

ハードディスク状態チェック		
モデル	WDC WD20PURX-64P	
ポート	SATA : 0	
シリアル番号	WD-WCC4MDXR2TTR	
容量	1861.9 GB	
S.M.A.R.T	サポート	
劣性名	現在の状態	しきい値
不良ブロック	0 %	100%
通電時間	197 (d)	-
温度	32 °C	-

3.5.4. ログ検索

システムログ

特定のシステムログ(全て、システム、設定、ネットワーク)の記録を検索出来ます。

NO	時間	イベント
1	20:09:56	Display configuration changed
2	20:05:19	User login
3	20:04:42	System start
4	20:03:12	System reboot
5	20:03:12	Factory default
6	20:02:51	User login
7	19:58:48	System start
8	18:49:36	Network configuration chagned
9	18:38:11	Network configuration chagned
10	18:37:32	Network configuration chagned

- ① 検索する日付を設定します。
- ② 検索するログの種類を選択します。(全て、システム、設定、ネットワーク)
- ③ 検索ボタンをクリックすると、ログの内容及び発生時間等を確認出来ます。
- ④ USBメモリーをデバイスに接続して、スキャンをクリックした後、エクスポートボタンをクリックすると、USBに保存出来ます。
- ⑤ 保存したログデータを見る方法
USBメモリーをPCに接続し、新しく作られたフォルダーの中に“system_[ログを検索した日付].log”ファイルをマウスでクリックします。
※フォルダー名の初期値はDVR1です。メニュー設定>システム>システム情報>サイト名で変更出来ます。

イベントログ

特定のイベントログ(全て、センサー、モーション、ビデオロス、HDDフル)の記録を検索出来ます。



- ① 検索する日付を設定します。
- ② 検索するログの種類を選択します。(全て、センサー、モーション、ビデオロス、HDDフル)
- ③ 検索ボタンをクリックすると、ログの内容及び発生時間等を確認出来ます。
- ④ USBメモリーをシステムに接続し“スキャン”を押した後“エクスポート”ボタンをクリックすると、USBに保存出来ます。
- ⑤ 保存したログデータを見る方法
USBメモリーをPCに接続し、新しく作られたフォルダーの中に“event_[ログを検索した日付].log”ファイルをクリックします。
※ フォルダ名の初期値はDVR1です。メニュー設定>システム>システム情報>サイト名で変更出来ます。

メモ システムログ、イベントログは1ページごとに20個のログデータを表示されます。

HDD

ハードディスクログの記録を検索出来ます。

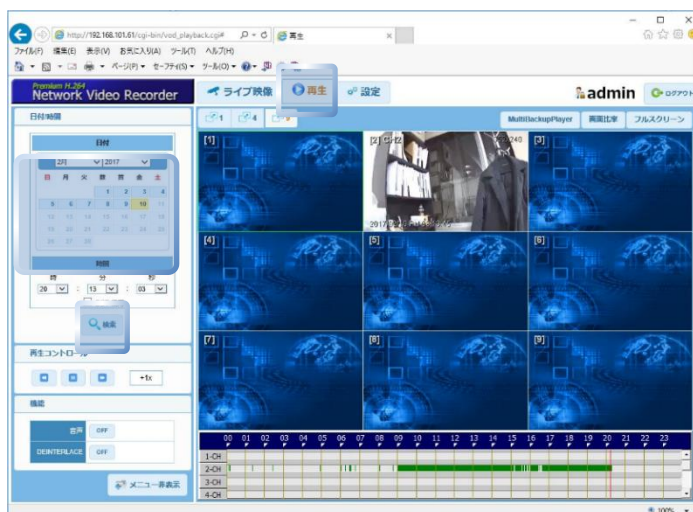
The screenshot shows a web-based interface for managing system settings. The top navigation bar includes '設定' (Settings), 'ディスプレイ' (Display), '録画' (Recording), 'デバイス' (Devices), 'ネットワーク' (Network), and 'システム' (System). The 'システム' section is active, with sub-tabs for 'イベント' (Events), 'システム' (System), and 'HDD'. The 'HDD' tab is selected, displaying a table of log entries. The table has columns for 'NO', '日付/時間' (Date/Time), and 'イベント' (Event). The entries show various system events, including 'System start' and 'Firmware upgrade'. A search bar is located above the table, and a '検索' (Search) button is present. The interface also includes a sidebar with navigation options like '日付/時間', 'ユーザー', 'ハードディスク', 'ログ検索', and '設定'. At the bottom, there are buttons for 'USB バックアップ', 'スキャン', and 'エクスポート'.

NO	日付/時間	イベント
1	04/06/2020 20:04:42	System start
2	04/06/2020 19:58:48	System start
3	04/03/2020 13:29:09	System start
4	04/03/2020 08:59:04	System start
5	04/03/2020 08:57:36	Firmware upgrade : v0.0.0.15
6	04/02/2020 16:36:22	System start
7	04/02/2020 16:34:21	System start
8	04/02/2020 16:32:49	Firmware upgrade : v0.0.0.14
9	04/02/2020 16:30:26	System start

4.2 ウェブ再生

ウェブブラウザからシステムの録画データを再生出来ます。

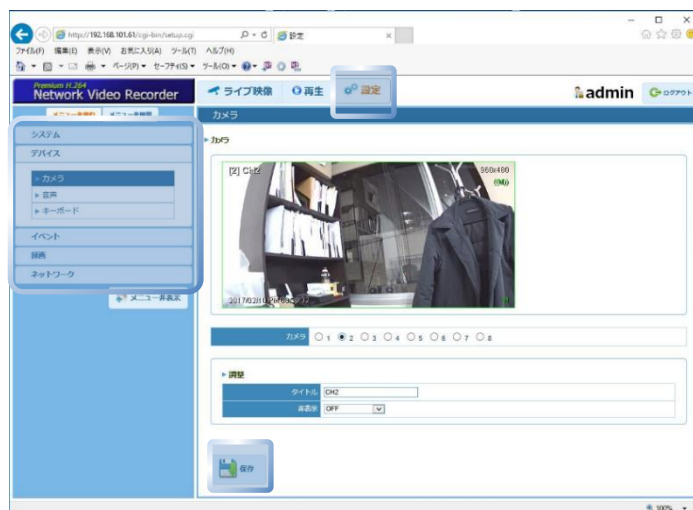
[再生]タブをクリックし、カレンダーから再生したい日付をクリックした後、[検索]ボタンをクリックします。



4.3 ウェブ設定

ウェブブラウザからシステムの設定を変更出来ます。

[設定]タブをクリックし、左側のメニューリストをクリックし設定を変更した後、[保存]ボタンをクリックします。



メモ ウェブブラウザでシステムを再起動させることが出来ます。

仕様書

モデル名	FDS-400NHT	FDS-800NHT	FDS-1600NHT
チャンネル	4CH	8CH	16CH
圧縮方式	H.265, H.264		
映像入力方式	NTSC		
映像入力	TVI & AHD & CVBS		
映像出力	HDMI(1), VGA(1), SPOT(1)		
分割画面	1, 4	1, 4, 6, 8, 9	1, 4, 6, 8, 9, 10, 13, 16
解像度	最大 2560 X 1440(4MP)		
録画速度	4M / 60 コマ	4M / 120 コマ	4M / 240 コマ
録画画質	VBR : 画質 4 段階 (低, 標準, 高, 最高) CBR : ビットレート 11 段階 (512KBPS ~ 4MBPS)		
録画モード	常時, モーション, センサー, 常時+モーション, 常時+センサー, モーション+センサー / 緊急録画		
検索モード	カレンダー, 日付/時間, 最初から, 最後から, システムログ, イベントログ, POS, HDD, ブックマーク		
再生モード	即時再生 (10 秒前~5 分前) / タイムバー / 再生, 一時停止, 逆再生, 早送り, コマ送り, 逆コマ送り / 倍速 (1, 2, 4, 8, 16, 32)		
音声入力 / 出力	入力:4 / 出力:1		
アラーム入力 / 出力	センサー入力:4 / アラーム出力:1		
内蔵 HDD	最大 1 枚 (10TB 対応)		最大 2 枚 (10TB 対応)
デジタルズーム	ライブ / 再生		
バックアップ	USB, ネットワーク		
システム操作	リモコン, マウス, ネットワーク		
ポート	RS-485	PTZ コントロール	
	LAN	RJ45(10 / 100 / 1000 Mbps), Ethernet	
	USB	×2 (前面, 後面)	
電源	DC12V 1.5A	DC12V 3A	DC12V 5A
消費電力※1	10.7W (安定時)	16.4W (安定時)	18W (安定時)
動作温度 / 湿度	5℃ ~ 40℃ / 20%RH ~ 90%RH (結露なきこと)		
外形寸法	315(W) X 239(D) X 45(H)mm		385(W) X 317(D) X 45(H)mm
重量	約 2.0kg	約 3.0kg	約 3.1kg

MEMO

保証書

[保証案内]

- 本書は、取扱説明書などの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
- 本書の内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

[保証内容]

- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。
- 保証期間中に発生した故障に対しては保証書の内容に従って、修理または補修サービスを行います。
- 保証期間内でも、次の場合は有料修理になります。
 1. 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
 2. お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
 3. 火災、天災地変(地震、風水雪害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
 4. 本書のご提示がない場合。
 5. 消耗部品の交換。
- 出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ハードディスクの映像データ・バックアップデータはいかなる場合も保証は致しません。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理のご希望により有料で修理させていただきます。

製品保証書

製品及びモデル名		
シリアルナンバー(本体カバーに記載)		
販売店	店名	
	住所	
	TEL	
お買い上げ日		
保証期間		本体1年間
お客様	お名前	
	ご住所	
	TEL	

- ▷ 保証書は再発行しません。
- ▷ 製品購入時、必ず内容をご記入してください。
- ▷ 修理に際しましては、必ず保証書をご提示ください。